

国内電信級陸上特殊無線技士試験問題

(注) 解答は、答えとして正しいと判断したものを一つだけ選び、答案用紙の答欄に正しく記入（マーク）すること。

法 規 12問 30分

法 規

〔1〕 再免許を受けた固定局の免許の有効期間は何年か。
次のうちから選べ。

- 1 3年
- 2 4年
- 3 5年
- 4 10年

〔4〕 総務大臣から無線従事者がその免許を取り消されることがあるのはどの場合か。次のうちから選べ。

- 1 日本の国籍を有しない者となったとき。
- 2 免許証を失ったとき。
- 3 引き続き5年以上無線設備の操作を行わなかったとき。
- 4 電波法に違反したとき。

〔2〕 無線従事者は、免許の取消しの処分を受けたときは、その処分を受けた日から何日以内にその免許証を総務大臣に返納しなければならないか。次のうちから選べ。

- 1 30日
- 2 14日
- 3 10日
- 4 7日

〔5〕 無線局の免許がその効力を失ったときは、免許人であった者は、その免許状をどうしなければならないか。次のうちから選べ。

- 1 1箇月以内に総務大臣に返納する。
- 2 2年間保管する。
- 3 3箇月以内に総務大臣に返納する。
- 4 直ちに廃棄する。

〔3〕 無線局の臨時検査(電波法第73条第5項の検査)において検査されることがあるものはどれか。次のうちから選べ。

- 1 無線従事者の知識及び技能
- 2 無線従事者の資格及び員数
- 3 無線従事者の勤務状況
- 4 無線従事者の住所及び氏名

〔6〕 固定局に備え付けておかなければならない書類はどれか。次のうちから選べ。

- 1 無線従事者選解任届の写し
- 2 無線設備等の点検実施報告書の写し
- 3 免許証
- 4 免許状

国内電信級陸上特殊無線技士試験問題

法 規

〔7〕 無線局を運用する場合においては、遭難通信を行う場合を除き、空中線電力は、どれによらなければならないか。次のうちから選べ。

- 1 免許状に記載されたものの範囲内で通信を行うため必要最大のもの
- 2 免許状に記載されたものの範囲内で通信を行うため必要最小のもの
- 3 通信の相手方となる無線局が要求するもの
- 4 無線局の免許の申請書に記載したもの

〔8〕 次の記述は、秘密の保護について述べたものである。電波法の規定に照らし、 内に入れるべき字句を下の番号から選べ。

何人も法律に別段の定めがある場合を除くほか、 を傍受してその存在若しくは内容を漏らし、又はこれを窃用してはならない。

- 1 総務省令で定める周波数を使用して行われる暗語による無線通信
- 2 総務省令で定める周波数を使用して行われる無線通信
- 3 特定の相手方に対して行われる暗語による無線通信
- 4 特定の相手方に対して行われる無線通信

〔9〕 一般通信方法における無線通信の原則として無線局運用規則に定める事項に該当するものはどれか。次のうちから選べ。

- 1 必要のない無線通信は、これを行ってはならない。
- 2 無線通信は、試験電波を発射した後でなければ行ってはならない。
- 3 無線通信は、長時間継続して行ってはならない。
- 4 無線通信を行う場合においては、略符号以外の用語を使用してはならない。

〔10〕 モールス無線通信の手送りによる和文の通報の送信速度の標準は、1分間について何字と規定されているか。次のうちから選べ。

- 1 50字
- 2 60字
- 3 75字
- 4 85字

〔11〕 モールス無線通信において、相手局に対し通報の反復を求めようとするときは、どうしなければならないか。次のうちから選べ。

- 1 反復する箇所の次に「RPT」を送信する。
- 2 反復する箇所を繰り返し送信する。
- 3 「RPT」の次に反復する箇所を示す。
- 4 「RPT」を送信する。

〔12〕 空中線電力50ワットの固定局の無線設備を使用して呼出しを行う場合において、確実に連絡の設定ができると認められるときの呼出しは、どれによることができるか。次のうちから選べ。

- | | |
|----------------|------|
| 1 相手局の呼出符号 | 3回以下 |
| 2 自局の呼出符号 | 3回以下 |
| 3 (1) 相手局の呼出符号 | 3回以下 |
| (2) DE | 1回 |
| 4 (1) DE | 1回 |
| (2) 自局の呼出符号 | 3回以下 |